

学会録事

1. 自然史学会連合

2012年度自然史学会連合総会および自然史学会連合の書籍出版計画に関する検討会が2011年12月22日に東京大学総合研究博物館ミュージズホールで開催された。

<報告事項>

1. 現在の加盟団体は39学協会（昨年から変動なし）。2. 運営委員会を5回開催。3. 博物館部会を2回開催。4. ホームページのサーバの移行。5. 講演会「自然災害とナチュラルヒストリー」（12/1, 栃木県立博物館）開催。6. 与那国島への自衛隊配備計画に関わる要望書（沖縄県知事, 与那国町長, 環境大臣, 防衛大臣宛）提出（4/16）。7. GBIF ワークショップ 21世紀の生物多様性研究「絶滅危惧種と生物多様性情報」後援。8. 「微生物データベースの将来に関するフォーラム」後援。

<審議事項>

1. 2011年度会計決算および監査報告:説明の後,承認された。2. 2012年度会計経過報告:説明の後,承認された。3. 2013年度事業計画:運営委員会(5回),博物館部会(2回),一般向け講演会(沖縄県立博物館・美術館):説明の後,承認された。4. 2013年度予算案:説明の後,承認された。5. 自然史学会連合による一般向け書籍出版(タイトル(仮)「身近な自然のふしぎシリーズ」)について基本計画案の説明の後,承認された。

<自然史学会連合の書籍出版計画に関する検討会>

編集方針等について臨時検討会を行い,運営委員会案(編集組織,加盟学協会の貢献,執筆・編集の基本的な進め方)が承認された。

※これにより各学協会では編集委員1名を選出することになり,本学会としては現代表の北山太樹氏(国立科学博物館植物研究部)が兼任することになった。

2. 日本分類学会連合

日本分類学会連合第12回総会が2013年1月12日に国立科学博物館上野本館講堂で開催された。

<報告事項>

1. 現在の加盟団体は25団体。2012年度活動報告:第26回

役員会開催(1/6),第11回総会・第11回公開シンポジウム「種の記載の現場に迫る」(1/7,東京大学駒場キャンパス18号館ホール)開催,与那国島への自衛隊配備計画に関わる要望書(沖縄県知事,与那国町長,環境大臣,防衛大臣宛)提出(1/24),第27回役員会開催(4/2),琉球大学熱帯生物圏研究センターの新部門・熱帯生物総合情報部門の設立,および組織の拡充についての要望書(関係各位)提出(6/5),ABS(Access and Benefit Sharing 遺伝資源の利用から生じた利益の公平な配分)に関する要望書(文部科学大臣宛)提出(8/20),GBIF ワークショップ 21世紀の生物多様性研究「絶滅危惧種と生物多様性情報」後援。2. ニュースレター:第21号(6/26)発行。3. ホームページ:国立情報学研究所のサーバからさくらインターネットのサーバへ移管,問題なく稼働中。4. データベース:日本産生物種数調査の公開ホームページの管理・維持,国内の重要コレクション実態調査を進めるため植物(菌類・藻類を含む)について既存情報を再整理してリスト作成,個人標本については日本シダ学会で試験的にアンケート実施。5. メーリングリスト:会員数は979名,1年間に21名増。

<審議事項>

1. 2013年度監査員の選出:役員会案の説明の後,承認された。2. 2012年度決算および会計監査報告:説明の後,承認された。3. 2013年度事業計画:以下の事業について説明があり,承認された:「日本分類学会連合」の連合としての「生物科学学会連合」への加盟(2013年から),2013年第12回公開シンポジウムの開催(1/12,13,国立科学博物館上野本館講堂),2014年第13回公開シンポジウムの開催(1/11,開催地・内容未定),ニュースレター23号,24号の発行,ホームページ(日本産生物種数調査の公開ホームページを国立科学博物館から連合サーバへ移行),データベース(国内の重要コレクション実態調査の継続)。4. 2013年度予算:予算案(一般会計)について説明があり,承認された。5. 昆虫科学連合主催のシンポジウムへの分類学会連合への協賛について説明があり,承認された。

3. 旧水研連加盟学会および関連学会会長懇談会

第1回懇談会が2012年10月24日に,第2回懇談会が2012年12月21日に,共に東京海洋大学品川キャンパスで開催され,本学会はオブザーバーとして参加した。